
種生物学会ニュースレター NO. 48

The Society for the Study of Species Biology newsletter 48

October 2014

第46回 種生物学シンポジウムのご案内

—さあ、とにかく富士山へ！！—

実行委員長 大西 亘（神奈川県立生命の星・地球博物館）

今年の種生物学シンポジウムは、2011年にもお世話になりました富士 Calm にて開催します。富士山を間近に眺めながら、あつい議論を交わしましょう。どうぞみなさま奮ってご参加ください。今年も夜通しの議論ができるよう会場を手配しています。議論の合間には満月に浮かび上がる富士山が見られることでしょうか。ぐっすり寝ても徹夜でも、朝日を浴びた富士山を眺めながらの入浴は格別です。また今回も託児対応を致します。お子様連れでもぜひご参加ください。

《全体のスケジュール》

12月5日(金)	
12:00-17:00	【各委員会】
17:30-18:00	【受付・ポスター貼付】
18:00-19:00	【夕食】
19:00-20:00	【プレシンポジウム】 「昆虫の体色および模様の形成機構と進化」 二橋 亮（産業技術総合研究所）
20:00より	【交流会】
12月6日(土)	
09:00-12:10	【シンポジウム1 午前の部】 「市民調査-フィールド生物学と市民参加型科学の接点、持続可能性を探る-」
12:10-13:10	【昼食】
13:10-15:10	【ポスター発表】
15:10-17:00	【シンポジウム1 午後の部】
17:00-18:10	【種生物学会 2014 年度総会】
18:00-21:00	【懇親会】 (片岡奨励賞・Plant Species Biology 論文賞・ポスター賞授与式含む)
21:00より	【交流会】
12月7日(日)	
09:00-12:00	【シンポジウム2 午前の部】 「情報通信技術を活用した生態環境研究の統合へ向けて」
12:00-13:00	【昼食】
13:00-16:00	【シンポジウム2 午後の部】
16:30	解散・送迎バス出発

12月5日(金) プレシンポジウム

「昆虫の体色および模様の形成機構と進化」 二橋 亮（産業技術総合研究所）

プレシンポでは、産業技術総合研究所の二橋亮さんをお招きし、「昆虫の体色および模様の形成機構と進化」と題して、昆虫の色彩や形態の多様性と不思議に迫る研究の展開についてご講演いただきます。二橋さんは、昆虫の個体間、種間の相互作用に関わる色彩や紋様の形成、形態形成について、生態学、進化生物学、生化学、発生生物学、遺伝学など、幅広い視点からのアプローチでご研究を進めていらっしゃる若手研究者です。最先端の手法を駆使した研究を推し進めているだけでなく、図鑑の執筆や博物館展示への協力など、アウトリーチ面での活躍もされています。なにより、「趣味も昆虫の研究です。」と web サイトに書かれている二橋さんのお話は、種生物学会員にとって、大いに刺激を受ける機会となると思います。

12月6日(土) シンポジウム1

「市民調査 ～フィールド生物学と市民参加型科学の接点、その持続可能性を探る～」

企画者：大西 亘（神奈川県立生命の星・地球博物館）

「ノンプロの市民の手による」市民参加型科学（＝Citizen Science）は、研究者だけでは実現し得ない科学研究の取り組みとして、あるいは科学教育の面で、さらには、より豊かな社会の実現のために、脚光を浴びている。中でも、野生動植物の調査を対象とする「市民参加型生物調査（＝市民調査）」は特に、国内外で様々な調査が実施されてきた。近年では、インターネット、デジタルカメラ、GPS受信機などの普及によって、参加者や調査対象を広げつつあり、今後さらなる広がりが期待される。本シンポジウムでは、様々な「市民調査」の事例を紹介するとともに、参加する市民や研究者など、それぞれの立場において、「市民調査」を持続的に発展させていくためのアイデアを探りたい。

《午前の部》

- | | | |
|-------------|----------------------------------|-----------------------|
| 09:30-09:40 | 趣旨説明 | 大西 亘（神奈川県立生命の星・地球博物館） |
| 09:40-10:15 | 「小学生と共に進める菌類調査から、真鶴半島お林の“いま”を知る」 | 折原貴道（神奈川県立生命の星・地球博物館） |
| 10:15-10:50 | 「学校教育から生物多様性に開かれた小さな文化を再構築する」 | 佐々木宏展（摂津市立第二中学校） |
| 10:50-11:00 | 休憩 | |
| 11:00-11:35 | 「『神奈川県植物誌』における市民参加型調査の挑戦」 | 大西 亘（神奈川県立生命の星・地球博物館） |
| 11:35-12:10 | 「参加型野鳥調査の歴史と現在」 | 神山和夫（バードリサーチ） |

《午後の部》

- | | | |
|-------------|--------------------------------------|-----------------------|
| 15:10-15:45 | 「魚類写真資料データベース：市民との協働で築かれた研究ツールとその応用」 | 瀬能 宏（神奈川県立生命の星・地球博物館） |
| 15:45-16:20 | 「全国規模の里山市民モニタリング調査 その成果と課題」 | 高川晋一（日本自然保護協会） |
| 16:20-16:40 | コメンテーターによりコメント | 神保宇嗣（国立科学博物館） |
| 16:40-17:00 | 総合討論 | |

12月7日 シンポジウム2

「情報通信技術を活用した生態環境研究の統合へ向けて」

企画者：田辺晶史（水産総合研究センター 中央水産研究所）

近年、情報通信技術の発展と普及にともなって、生態環境研究やそのインフラ整備にも積極的な活用が進んでいる。特に、各種センサーを備えた安価なモニタリング機器によって、膨大なデータが収集可能になりつつある。また、遺伝的な情報も超並列シーケンサの普及にともなって蓄積が加速度的に進行している。これらのデータを蓄積・統合し、横断的に解析を行うには、標準となる記述仕様の定義が不可欠であるため、その策定と普及も現在進められている。また、地図を媒体として様々な情報を繋げることができる地理情報システムの生態環境研究への応用も注目すべき点である。本企画では、繋がり始めたこれらの技術を俯瞰し、実際に活用されている研究を紹介する。

《午前の部》

- | | | |
|-------------|--------------------------------|--------------------------|
| 09:00-09:10 | 趣旨説明 | 田辺晶史（水産総合研究センター 中央水産研究所） |
| 09:10-09:50 | 「生物多様性情報システムの生態環境研究への応用について」 | 神保宇嗣（国立科学博物館） |
| 09:50-10:30 | 「博物館の標本データベースは生態環境研究に活用可能なのか？」 | 海老原淳（国立科学博物館） |
| 10:30-10:40 | 休憩 | |
| 10:40-11:20 | 「INSDC・DDBJのMIxSに関するとりくみと活用」 | 中村保一（国立遺伝学研究所） |
| 11:20-12:00 | 「フィールドサイエンスにおけるGISの活用」 | 三島啓雄（国立環境研究所） |

《午後の部》

13:00-13:40	「東日本大震災後の海洋生態系の変化を GIS で統合する」 山北剛久 (海洋研究開発機構)
13:40-14:20	「フィールドセンサーネットワークを用いた環境モニタリング」 平藤雅之 (農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業総合研究センター)
14:20-14:30	休憩
14:30-15:10	「写真による生物観測情報の収集と活用」 大野ゆかり (東北大学大学院生命科学研究科)
15:10-15:20	総括 田辺晶史
15:20-15:30	コメンテーターによるコメント1 西廣淳 (東邦大学)
15:30-15:40	コメンテーターによるコメント2 村上正志 (千葉大学)
15:40-16:00	総合討論

参加・宿泊申込

参加申し込みは原則としてオンラインの登録フォームにて受け付けます。

http://www.speciesbiology.org/archives/2014_10_18_00_25_54.html

[参加申し込み・参加費早割 11月17日(月)まで]

参加費等

- ・参加費は、11月17日(月)までの申し込みで、学生会員 1500 円、一般会員 5500 円、非会員(学生含む)6500 円です。11月18日(火)以降は当日参加料金(現地で現金にて支払い)でそれぞれ 500 円ずつ高くなります。
- ・宿泊費は朝食代も含めて1日目は、学生5000円、一般7000円(各非会員も含む)、2日目は、懇親会費込みで、学生9000円、一般13500円(各非会員も含む)です。また、昼食代は1000円、夕食代は1500円、別途にかかります。
- ・部屋は、男女別の相部屋になります。部屋には、バスタオル・ハンドタオル・歯ブラシ等の設備があります。詳しくは富士 Calm のホームページ <http://fujicalm.jp/accommodation/charge-type.html> をご覧ください。

※現在非会員の方でも、11月15日(金)までにご入会いただければ、学生会員と同じ費用を適用いたします。登録フォームでの参加申し込み前に、是非、種生物学会へご入会をご検討ください。種生物学会への入会申し込みは、<http://www.speciesbiology.org/entree/> からお願いいたします。

(例) 11月17日(月)までに申し込んだ場合

学生会員: 参加費 1500 円 + 宿泊懇親会費 15500 円 + 昼食代(2日分)2000 円 = 19000 円

一般会員: 参加費 5500 円 + 宿泊懇親会費 22000 円 + 昼食代(2日分)2000 円 = 29500 円

参加費・宿泊費の振り込み

[参加費早割 11月17日(月)まで]

参加費および宿泊費を以下の振替口座までご送金ください。

※ 本シンポジウム専用の振り込み用紙は準備しておりません。原則として参加費等の領収書は発行いたしません。郵便振込請求書兼受領証を各自保管してください。一旦払い込まれた参加費は返却できませんので、御承知おさください。

郵便局での振り込みの場合 (ゆうちょ銀行 振替専用口座)

口座番号: 00290-7-52556

加入者名: 第46回種生物 (ダイオングユウロクカイシュセイブツ)

ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振り込みの場合

店名: ○二九 (ゼロニキュウ) 店(0 2 9)

預金種目: 当座 口座番号: 0052556

ポスター発表の募集

参加申し込み締め切り 11月17日(月) ・ 要旨提出締め切り 11月21日(金)

例年通り、ポスターセッションを行います。ポスター発表を希望される参加者の方は、参加申込みの際にポスター発表を申し込んでください。ポスター発表の演者は、種生物学会会員に限りません。演者とはポスターの前で研究内容を説明する方のことです。種生物学会に入会を希望する方は、種生物学会ホームページの「入会案内」よりご入会ください。ポスターは A0 縦サイズまたはそれ相当でご準備下さい。ポスター賞に応募するかどうか

のチェックも忘れずをお願いします。ポスター発表内容の要旨を11月21日(金)までにメール添付にて事務局 speciesbiology.46@gmail.com 宛にお送り下さい。要旨はA4サイズ1ページで自由書式(Microsoft Word, Adobe pdf形式)です。

★子連れ参加支援

託児利用やお子様連れでの宿泊希望の方は、参加申し込みの登録フォームの備考欄に、利用日時と利用時のお子様の年齢をご記入下さい。個別に詳細を連絡します。

※金曜と土曜は、富士吉田市内の2カ所の認可外保育施設が、朝から夕方まで一時保育を行っています。どちらも会場から車で10分~20分程の距離です。日曜は、富士Calm施設内に託児室を設置する予定です。

会場案内 (富士Calmのホームページ図を改変)

富士Calm 一般財団法人人材開発センター富士研修所 (山梨県富士吉田市新屋 1400)
TEL:0555-22-5156 HP: <http://fujicalm.jp>



※ 送迎バスがです。

12月5日(金) 富士急ハイランド高速バス停留所 16:40 17:00
富士山駅 17:30

12月6日(土) 富士急ハイランド 8:55、富士山駅 9:15

12月7日(日) 会場を16:30に出て、富士急ハイランド、富士山駅まで送迎

※ 富士急ハイランドまでは、首都圏各地、長野、金沢、三島、名古屋、京都、大阪、福岡などから、高速バスが運行しています。

富士急行 富士急高速バス <http://bus.fujikyuu.co.jp/highw/index.html>

2014年度 会費納入のお願い

種生物学会では、前納制をとらせていただいております。2014年度までに未納分がある方は、お振り込みをお急ぎ下さいますようお願い申し上げます。

郵便振替口座 00240-6-45544 加入者名:種生物学会

年会費: 一般会員 12,000円 学生会員 6,000円

(学生会員は振込み用紙の通信欄に指導教員のサインをもらってください)

※ 所属を変更された方、会費、退会に関するお問い合わせは、事務局までお願い致します。

〒448-0001 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学自然科学棟内 Email: office@speciesbiology.org

種生物学会ニュースレター NO. 48

発行 種生物学会

編集 渡邊幹男(庶務幹事)、常木静河(会計)

〒448-0001 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

発行日 2014年10月31日

印刷所 愛知教育大学